

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスについて

令和7年2月19日 感染症対策課

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス

目的

急性呼吸器感染症（ARI）の定義に合致する症例数及び収集された検体又は病原体から、**各感染症の患者数や病原体等の発生数を集計し、国内の急性呼吸器感染症（ARI）の発生の傾向（トレンド）や水準（レベル）を踏まえた、流行中の呼吸器感染症を把握する。**

- ・急性呼吸器感染症（ARI）は、飛沫感染等により周囲の方にうつしやすい特徴があり、**①こうした流行しやすい急性呼吸器感染症の流行の動向を把握する、②仮に未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知することが可能**
- ・将来、新型インフルエンザ等感染症が発生した場合にも、**平時から継続的に動向を把握することが可能**になるとともに、**平時のサーベイランス体制への移行がスムーズ**となることが、期待される。

急性呼吸器感染症（ARI）**定点**の対象疾患の範囲

インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、急性呼吸器感染症※

急性呼吸器感染症（ARI）**病原体定点**の対象疾患の範囲

インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、百日咳、クラミジア肺炎、マイコプラズマ肺炎、急性呼吸器感染症※

※症例定義：咳嗽（がいそう）、咽頭通、呼吸困難、鼻汁（びじゅう）、鼻閉（びへい）のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

開始予定日

令和7年4月7日

急性呼吸器感染症（ARI）定点の報告内容

COV-19 5 類移行前（R2.10～）

COV-19 5 類移行後（R5.5～）

R7年 4 月～

国

インフル定点
（内科）

インフル定点
（小児科）

インフル/COV-19
定点（内科）

インフル/COV-19
定点（小児科）

急性呼吸器感染症定点
（内科・小児）

インフルエンザ

インフルエンザ

インフルエンザ

インフルエンザ

すべての急性呼吸器感染症

RSV感染症

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

A群溶連菌咽頭炎

※上記の他、小児科にて把握している手足口病などの5類感染症

COV-19

COV-19

RSV感染症

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

A群溶連菌咽頭炎

※上記の他、小児科にて把握している手足口病などの5類感染症

インフル/COV-19
定点（内科）

インフル/COV-19（小児科）
・小児科定点

変更なし

変更なし

三重県

インフル定点
（内科）

インフル定点
（小児科）

インフル/COV-19
定点（内科）

インフル/COV-19
定点（小児科）

急性呼吸器感染症（内科・小児）定点
インフル/COV-19定点

インフルエンザ

インフルエンザ

インフルエンザ

インフルエンザ

変更なし

インフルエンザ
以外の上気道炎

インフルエンザ
以外の上気道炎

COV-19
急性呼吸器感染症

COV-19
急性呼吸器感染症

※すでに県独自でインフル/COV-19定点がARI定点を兼ねている

RSV感染症

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

A群溶連菌咽頭炎

※上記の他、小児科にて把握している手足口病などの5類感染症

RSV感染症

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

A群溶連菌咽頭炎

※上記の他、小児科にて把握している手足口病などの5類感染症

小児科定点

変更なし

※ARI定点数：内科26機関、小児科45機関
※小児科定点数45機関（ARI定点と重複）

【参考】三重県独自の急性呼吸器感染症サーベイランス

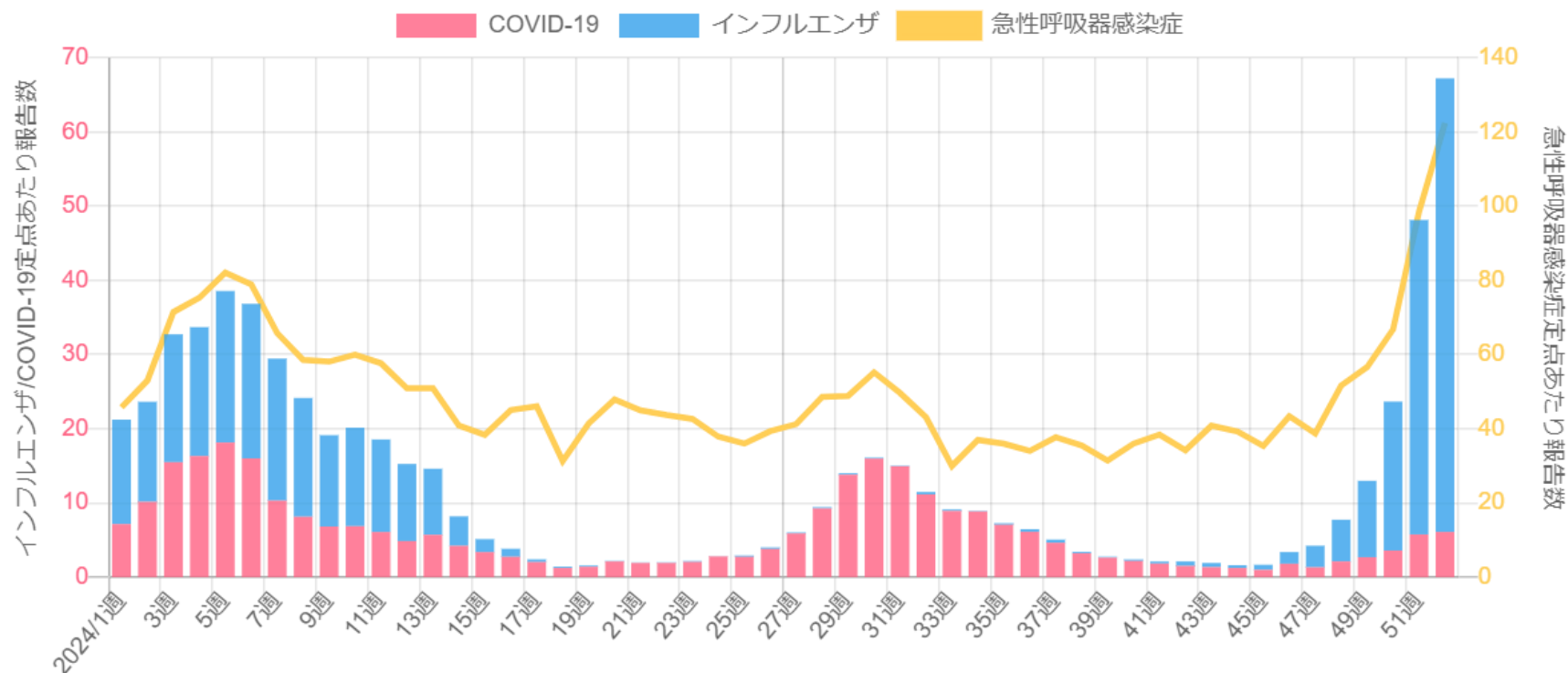


図1. 疾患別定点あたり患者報告数

インフルエンザ：急性呼吸器感染症のうちインフルエンザ数, COVID-19：急性呼吸器感染症のうち新型コロナウイルス感染症数

【参考】三重県独自の急性呼吸器感染症サーベイランス

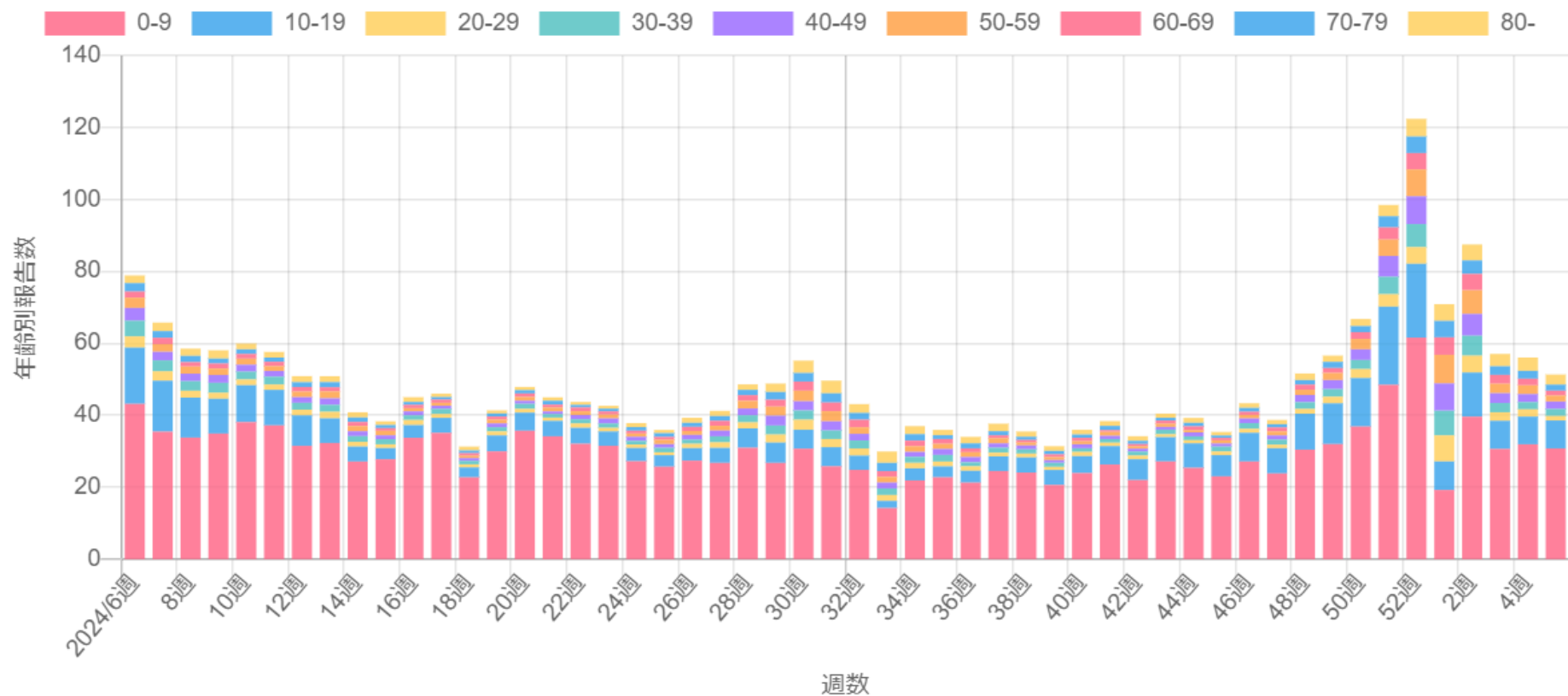


図2. 年齢階級別急性呼吸器感染症定点あたり患者報告数

急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点報告内容

現状

インフルエンザ (インフルエンザ病原体定点：9定点)

- ・ 流行期（1を超えている間）：
 定点当たり、少なくとも1検体／週
- ・ 非流行期：定点当たり、1検体／月

要綱：約290検体／年
実績：約50～100検体／年

COV-19 (COV-19ゲノム解析検体確保医療機関：12機関)

- ・ 地方衛生研究所ごとに、20検体／月（目安）

実績：約14検体／月

R7年4月～

急性呼吸器感染症 (ARI病原体定点：9定点)

- ・ 営業日のうち週はじめから数えて第2営業日に収集された、はじめの**5検体**を**目標**に地方衛生研究所に提出
- ・ 新型コロナのゲノム解析に用いる検体は、上記の検体から地方衛生研究所で選定
- ・ ARI病原体定点において、全自動遺伝子解析装置等で検査を行った場合は、その結果も提出。

要綱（案）：約2,300検体／年
（うち、COVID-19陽性検体をゲノム解析）